



平成 15 年 12 月 29 日

各 位

東京都新宿区西新宿一丁目 23 番 3 号
株式会社ハーバー研究所
代表取締役社長 小柳 昌之
(コード番号: 4925)

問い合わせ先

社長室ディレクター: 高崎 明彦

電話番号 03-5321-6340 (代表)

米国での BSE 発生に対する対応について

米国における BSE 感染牛の発生を受け、米国産を含んだ牛骨由来のゼラチンを使用したソフトカプセル関連製品につきまして、下記のとおり販売を自粛させていただきことと致しましたのでお知らせします。

弊社では、ソフトカプセルの基材として米国産を含む牛骨由来のゼラチンを使用してきましたが、平成 13 年 10 月 5 日付け厚生労働省通知「特定危険部位を含むおそれのある牛由来原材料を使用して製造又は加工された食品の安全性確保について」(食発第 294 号)などの指導に従い、特定部位(舌および頬肉を除く頭部、せき髄並びに回腸遠位部を云い、BSE につながる恐れのある部位)を一切含まない原料を使用する等の安全確保に係わる措置をとって参りました。

更に、「ゼラチンは製造過程において、アルカリ及び高温加熱等による処理が行われている為、人が消費しても安全である」との WHO のレポート(1996 年 4 月)もなされております。

弊社と致しましては、上記のとおり、弊社製品に使用されているソフトカプセルの安全性は確保されているものと考えておりますが、

- (1) 平成 15 年 12 月 26 日付けにて米国が正式に BSE 発生国であると認定されたこと
 - (2) 平成 15 年 12 月 26 日付け厚生労働省発「米国での BSE 発生に対する対応について(第 2 報)」において、従来の特定部位に加えて骨の一部である「せき柱」が含まれる加工食品についても販売等の自粛が要請されていること
- などの事情に鑑み、米国産牛骨を含む原料から製造されたゼラチン使用のカプセル製品

につきましては、当面の間販売を自粛させていただくことと致しました。
販売を自粛させていただく商品は下記のとおりです。

製品名
ピクエース
E×A
ヴァイタルミネラルズ
純海

弊社と致しましては、今後共、消費者の安全と安心を第一に考え、また、厚生労働省をはじめ関係各所の指導に従い、ゼラチン原料として牛皮や非BSE発生国の牛骨を使用する等の対策を検討していく予定であります。

なお、上記品目の売上構成(平成 15 年 9 月中間期:連結)は、下記の通りであり、業績に与える影響は軽微なものにとどまるものと予想しております。

	売上高	(売上構成比)
・ピクエース	56,075 千円	(1.26%)
・E×A	28,741 千円	(0.64%)
・ヴァイタルミネラルズ	13,879 千円	(0.31%)
・純海	64,850 千円	(1.45%)
合 計	163,545 千円	(3.66%)

以 上